

平成 30 年 10 月 29 日

神戸市魚崎財産区管理者
神戸市長 久 元 喜 造 様

| | |
|---------|---------|
| 神戸市監査委員 | 岸 本 義 一 |
| 同 | 吉 田 基 毅 |
| 同 | 坊 池 正 |
| 同 | 平 木 博 美 |

決 算 審 査 意 見 の 提 出 に つ い て

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により，平成 29 年度魚崎財産区歳入歳出決算及び決算附属書類を審査し，次のとおりその意見を提出します。

目 次

| | | | |
|-----|-------|-------|---|
| 第 1 | 審査の対象 | ----- | 1 |
| 第 2 | 審査の方法 | ----- | 1 |
| 第 3 | 審査の期間 | ----- | 1 |
| 第 4 | 審査の結果 | ----- | 1 |
| 1 | 概 況 | ----- | 2 |
| 2 | 歳 入 | ----- | 3 |
| 3 | 歳 出 | ----- | 4 |
| 4 | 財産の状況 | ----- | 6 |

凡 例

- 1 文中で用いる金額は万円単位で表示し，単位未満は切り捨てた。
- 2 各表中の比率は，百分率で表示し，小数点以下第2位を四捨五入している。
したがって合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 各表中の符号の用法は，次のとおりである。
 - 「 0 」 「 0.0 」 該当数値はあるが，単位未満のもの。
差引又は率の場合は零を含む。
 - 「 - 」 該当数値なし，算出不能又は無意味のもの。
 - 「 ほぼ皆増 」 増加率が 1,000% 以上のもの。
 - 「 ほぼ皆減 」 減少率が 1,000% 以上のもの。

平成29年度魚崎財産区決算審査意見

第1 審査の対象

平成29年度魚崎財産区歳入歳出決算及び決算附属書類

第2 審査の方法

歳入歳出決算及び決算附属書類が、法令に基づいて作成されているか、計数は正確であるか、会計処理及び財産の記録管理は適正かについて、東灘区総務部総務課及び区会計管理者が所管する証書類と照合するとともに責任者に対する質問等の方法により審査した。

第3 審査の期間

平成30年8月6日～10月29日

第4 審査の結果

平成29年度歳入歳出決算及び決算附属書類は法令に従い作成されており、その計数は正確であり、会計処理及び財産の記録管理は適正に行われているものと認められた。

なお、当年度の決算状況は、以下に述べるとおりである。

1 概 況

決算収支の状況をみると、第1表のとおりである。

第 1 表 決 算 収 支 の 状 況

(単位 金額：円，比率：%)

| 区 分 | 平 成 29 年 度 | | | 平 成 28 年 度 | | |
|---------------------|-------------|---------------|---------------|------------|---------------|---------------|
| | 金 額 | 対前年度 増 減 額 | 対前年度 増 減 率 | 金 額 | 対前年度 増 減 額 | 対前年度 増 減 率 |
| 歳 入 (A = B + C) | 179,353,196 | 87,471,066 | 95.2 | 91,882,130 | △ 3,436,370 | △ 3.6 |
| 当 年 度 歳 入 (B) | 161,252,744 | 87,450,363 | 118.5 | 73,802,381 | △ 13,776,633 | △ 15.7 |
| 前 年 度 繰 越 金 (C) | 18,100,452 | 20,703 | 0.1 | 18,079,749 | 10,340,263 | 133.6 |
| 歳 出 (D) | 129,825,953 | 56,044,275 | 76.0 | 73,781,678 | △ 3,457,073 | △ 4.5 |
| 歳入歳出差引額 (E = A - D) | 49,527,243 | 31,426,791 | 173.6 | 18,100,452 | 20,703 | 0.1 |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 (F) | - | - | - | - | - | - |
| 実 質 収 支 (E - F) | 49,527,243 | 31,426,791 | 173.6 | 18,100,452 | 20,703 | 0.1 |
| 単 年 度 収 支 (E - C) | 31,426,791 | 31,406,088 | ほぼ皆増 | 20,703 | △ 10,319,560 | △ 99.8 |

歳入は1億7,935万円となっており、前年度に比べ8,747万円(95.2%)増加している。

歳出は1億2,982万円となっており、前年度に比べ5,604万円(76.0%)増加している。

この結果、歳入歳出差引残額は4,952万円となり、全額翌年度へ繰り越している。

また、前年度繰越金1,810万円を除いた単年度収支は3,142万円の黒字となっている。対前年度額が増加したのは、主として基金からの繰入金を予算額どおり繰り入れたことによるものである。

2 歳 入

歳入の状況を見ると、第2表のとおりである。

第 2 表 歳 入 の 状 況

(単位 金額：円，比率：%)

| 区 分 | 平 成 29 年 度 | | | 平 成 28 年 度 | | |
|-----------------|-------------|---------------|---------------|------------|---------------|---------------|
| | 金 額 | 対前年度 増 減 額 | 対前年度 増 減 率 | 金 額 | 対前年度 増 減 額 | 対前年度 増 減 率 |
| 貸地料及び一時使用料 | 39,232,902 | △ 1,241,012 | △ 3.1 | 40,473,914 | 380,827 | 0.9 |
| 承 諾 料 等 | 18,599,000 | 15,096,000 | 430.9 | 3,503,000 | △ 2,000,000 | △ 36.3 |
| 会 館 使 用 料 | 4,995,525 | △ 46,025 | △ 0.9 | 5,041,550 | △ 260,350 | △ 4.9 |
| 補 助 金 受 入 | 35,000 | △ 30,000 | △ 46.2 | 65,000 | 0 | 0.0 |
| 預 金 及 び 基 金 利 子 | 17,720,000 | △ 3,381,000 | △ 16.0 | 21,101,000 | △ 1,572,699 | △ 6.9 |
| 繰 越 金 | 18,100,452 | 20,703 | 0.1 | 18,079,749 | 10,340,263 | 133.6 |
| そ の 他 | 80,670,317 | 77,052,400 | ほぼ皆増 | 3,617,917 | △ 10,324,411 | △ 74.1 |
| 合 計 | 179,353,196 | 87,471,066 | 95.2 | 91,882,130 | △ 3,436,370 | △ 3.6 |

注記：※平成29年度末収入未済額 平成29年度分 287,010円。平成28年度分 20,310円

以下、主な項目について述べる。

「貸地料及び一時使用料」は財産区有地、共有地に係るもので、3,923万円となっており、前年度に比べ124万円(3.1%)減少している。これは主として区有地貸地料の減による。

「承諾料等」は土地の賃貸借契約に係る名義書換料、増改築承諾料及び賃貸借期間満了に伴う更新料で、1,859万円となっており、前年度に比べ1,509万円(430.9%)増加している。これは主として、名義書換料の増による。

「会館使用料」は横屋・魚崎・魚崎西町の各会館及び魚崎わかばサロンの使用料で499万円となっており、前年度とほぼ同額である。

「預金及び基金利子」は基金に係る利息で、1,772万円となっており、前年度に比べ338万円(16.0%)減少している。

「繰越金」は前年度の歳入歳出差引残額を繰り越したもので、1,810万円となっており、前年度とほぼ同額である。

「その他」は基金からの繰入金及び諸収入金の雑入で、8,067万円となっており、前年度に比べ大幅に増加している。基金からの繰入金は、横屋会館改修工事に充てるため予算で8,066万円計上したが、工事の執行額は5,947万円となった。しかし、基金からの繰入金は8,066万円を繰り入れた。これは基金からの繰入金は予算額どおり繰り入れるとい

う考え方による。

3 歳 出

歳出の状況をみると、第3表のとおりである。

第 3 表 歳 出 の 状 況

(単位 金額：円，比率：%)

| 区 分 | 平 成 29 年 度 | | | 平 成 28 年 度 | | |
|-------------|-------------|---------------|---------------|------------|---------------|---------------|
| | 金 額 | 対前年度 増 減 額 | 対前年度 増 減 率 | 金 額 | 対前年度 増 減 額 | 対前年度 増 減 率 |
| 議 会 費 | 3,737,608 | △ 210,522 | △ 5.3 | 3,948,130 | △ 320,508 | △ 7.5 |
| 会 館 費 | 33,126,648 | △ 2,753,667 | △ 7.7 | 35,880,315 | △ 499,313 | △ 1.4 |
| 土 地 管 理 費 | 162,702 | △ 1,240,596 | △ 88.4 | 1,403,298 | 1,403,298 | 皆増 |
| 建 物 管 理 費 | 59,506,402 | 59,264,369 | ほぼ皆増 | 242,033 | 216,062 | 831.9 |
| 事 務 費 | 6,927,534 | 186,225 | 2.8 | 6,741,309 | △ 932,697 | △ 12.2 |
| 尚 歯 会 費 | 13,661,200 | 728,590 | 5.6 | 12,932,610 | 194,280 | 1.5 |
| 団 体 福 祉 費 | 11,634,899 | △ 329,084 | △ 2.8 | 11,963,983 | 412,641 | 3.6 |
| そ の 他 福 祉 費 | 498,960 | 498,960 | 皆増 | - | - | - |
| 基 金 造 成 費 | - | - | - | - | - | - |
| 雑 支 出 | 570,000 | △ 100,000 | △ 14.9 | 670,000 | 0 | 0.0 |
| 議 員 選 挙 費 | - | - | - | - | △ 3,930,836 | 皆減 |
| 合 計 | 129,825,953 | 56,044,275 | 76.0 | 73,781,678 | △ 3,457,073 | △ 4.5 |

以下、主な項目について述べる。

「議会費」は議会運営費，議員報酬等で，373万円となっており，前年度に比べ21万円（5.3%）減少している。これは，主として議員に欠員が生じたことによる。

「会館費」は各会館等の指定管理料等で，3,312万円となっており，前年度に比べ275万円（7.7%）減少している。これは主として，会館等の備品購入費の減による。

なお，指定管理料は3,257万円であるが，この内訳は人件費1,990万円（常勤統括管理責任者1名及び各施設担当者計6名の体制）と，維持管理費1,150万円（光熱水費，消耗品，定期清掃，機械警備，設備点検等）と，修繕費97万円と備品購入費18万円である。

「土地管理費」は区有地の保全に要する経費等で，16万円となっており，前年度に比べ124万円（88.4%）減少している。これは主として，貸地料鑑定評価業務委託料の減による。

「建物管理費」は会館の維持管理費等で，5,950万円となっており，前年度に比べ

5, 926万円（ほぼ皆増）増加している。これは主として、横屋会館改修工事に係る費用の増による。

「事務費」は財産区事務職員の報酬、賃金及び需用費等で、692万円となっており、前年度に比べ18万円（2.8%）増加している。

「尚齒会費」は敬老の日に財産区内の数え歳70歳以上の高齢者に記念品を贈呈するための経費で、1,366万円となっており、前年度に比べ72万円（5.6%）増加している。これは主として、記念品の購入単価が増加したことによる。

「団体福祉費」は財産区住民の福祉向上を図ることを目的として魚崎財産区団体等助成要綱に定められた団体に対する助成金で、1,163万円となっており、前年度に比べ32万円（2.8%）減少している。

「その他福祉費」は財産区住民の福祉向上を図ることを目的として臨時に地域団体等へ助成を行うための経費で、49万円となっており、前年度から皆増となっている。これは防災福祉コミュニティへの助成を行ったことによる。

「雑支出」は寄付金等で、57万円となっており、前年度に比べ10万円（14.9%）減少している。これは主として、神戸まつりへの寄付金の減による。

4 財産の状況

財産の状況をみると、第4表のとおりである。

第 4 表 主 な 財 産 の 状 況

1. 土地及び建物

(単位 面積：㎡，比率：%)

| 区 分 | | 平成 29 年度 末 | | | 平成 28 年度 末 | | | |
|--------|-------|------------------------------------|-------------|---------------|------------|-------------|---------------|-----|
| | | 面 積 | 対前年度 増 減 | 対前年度 増 減 率 | 面 積 | 対前年度 増 減 | 対前年度 増 減 率 | |
| 土 地 | 区 有 地 | 23,362.76 | △ 331.66 | △ 1.4 | 23,694.42 | 0.00 | 0.0 | |
| | 共有地 | 818,143.56 のうち持分 2/4 | 409,071.79 | 0.00 | 0.0 | 409,071.79 | 0.00 | 0.0 |
| | | 4,880.00の うち持分2/7 | 1,394.29 | 0.00 | 0.0 | 1,394.29 | 0.00 | 0.0 |
| | | 2,847.42 のうち持分 9,316/100,000 | 265.27 | 0.00 | 0.0 | 265.27 | 0.00 | 0.0 |
| | 計 | 434,094.11 | △ 331.66 | △ 0.1 | 434,425.77 | 0.00 | 0.0 | |
| 建 物 | | 2,324.89 | 0.00 | 0.0 | 2,324.89 | 0.00 | 0.0 | |

「土地」は財産区有地及び共有地で、前年度末に比べ331.66㎡(1.4%)の減である。これは、地積更正による減である。

「建物」は各会館等である。

2. 基金

(単位 金額：千円，比率：%)

| 区 分 | | 平成 29 年度 末 | | | 平成 28 年度 末 | | |
|-----|--|------------|---------------|---------------|------------|---------------|---------------|
| | | 金 額 | 対前年度 増 減 額 | 対前年度 増 減 率 | 金 額 | 対前年度 増 減 額 | 対前年度 増 減 率 |
| 基 金 | | 1,622,454 | △ 80,665 | △ 4.7 | 1,703,119 | △ 3,499 | △ 0.2 |

「基金」は16億2,245万円であり、基金からの繰入金として予算額どおり取り崩したため前年度に比べ4.7%減となっている。